令和５年９月８日（金）

東彼杵中だより

文責：校長　正尾　敏　　第２３号

第２学期　東彼杵中学校　学校経営方針

１日（金）に始業式を終え、無事に２学期がスタートしました。今のところ１学期同様に生徒も元気に２学期をスタートできています。ここでは、保護者の皆様に２学期に本校で主に力を入れていきたいことを説明させていただきます。保護者の皆様、２学期もどうぞよろしくお願いいたします。

２学期の学校テーマ「安全に・主体的に・前向きに」

①学校の危機管理の徹底（学校は安心・安全な場所を第一に）

ここ数年、不審者対応の避難訓練を実施していません。土地柄、不審者が現れる可能性は低いといえども、本校には校外からの出入口が多数あります。防犯カメラを昨年、学校出入口付近に３か所設置しましたが、昨年の埼玉県戸田市の事件を想定すると、安全対策は万全とはいえません。教室の出入口も１か所しかないため、教室に不審者を入らせない対策を警察署と連携しながら考え、不審者対応の訓練を実施したいと思います。

②行事への取組（生徒の主体性を重視）

コロナウィルスも第５類になったため、今年度より多くの来賓の皆様や保護者の皆様に学校行事を参観していただくつもりでいます。９月１７日には体育大会も実施されますが、応援合戦はもちろん、生徒会が考えた種目も取り入れています。前例踏襲ではなく、こどもたち発案の生徒の主体性に通じる内容も加味していきたいと思います。

③学力向上・授業改善（生徒の生きる力をはぐくむ）

８月１８日には町内の小中学校の先生方が集合し、「東彼杵町学力向上研修会」が東彼杵町総合会館で実施されました。研修会ではベネッセより学力向上に向けた本町の課題の説明を受け、その後は６つの分科会にわかれてそれぞれのテーマで「学力向上」について協議しました（右上写真）。そのことを受けて、本校でも早速、８月３０日に校内研修を実施し、ICTを活用した授業改善に向けた校内研修と協議がなされました。県学力調査（２年生）や全国学力調査（３年生）の結果をみると、本校生徒は全国・県平均と大きな差異はなく、通年でみると大きく学力が伸びている教科もあります。一方、まだまだ学力が伸びるであろう教科もありますので、今後も研究授業等で検証しながら、学力向上につなげていきたいと思います。

東彼杵町学力向上研修会（８月１８日実施）

東彼杵中、千綿小、彼杵小の全職員が参加し、９年間を見据えた児童・生徒の学力向上について熱心に討議しました。とても実りの多い研修会となりました（写真は分科会の様子です）

「ひがしそのぎ　くすのき未来塾　開講」

東彼杵町教育委員会主催の「ひがしそのぎくすのき未来塾」が8月１６日に開講しました。大学生や元教員、外国語指導助手などの地域住民の「学習サポーター」が中学生に個別にアドバイスや指導を無料で行ってくれます。東彼杵中学校の生徒を対象に１回２時間、３月までに計１８回、東彼杵町総合会館で実施されます。現在、２０数名の生徒が受講し、指導者も１３名参加されています。学習内容は数学・英語が主体ですが、自分の学習に合わせて自分なりの学習を行ってもよいそうです。水曜日のノー部活動デーの日に実施してますので、是非多くの生徒に参加してほしいと思います。まだまだ、参加者を募っておりますので、ご希望の方は東彼杵町教育委員会（４６－０３５３）までお問合せください。

右：長崎新聞（８月２０日掲載より）

東彼杵中　校訓

「夢に向かって」

探究・協働・仁愛

生徒会　テーマ

[翔]

新しい自分へChance・Challenge・Change